

●自然や農村風景活用

役場や学校のある山田町の中心部を過ぎ、坂道を上ると急に視界が開け、広々とした一堂ヶ丘公園に着く。まず目につくのが巨大なかかしのモニュメント。かすりの着物に麦わら帽子、両手を真横に広げて人々を迎えてくれる。

童謡「山田のかかし」、へのへのもへじの顔をイメージ化したかわいい男の子である。名は「大地くん」。

公園には丘の傾斜を利用したローラー滑り台や展望台、流れるプール、パターゴルフ場などがあり、親子で一日楽しむことができる。中心施設は農業体験学習館「活性化センターかかし館」で、隣接する体験農場とともに都市の人々と農村の交流の場となっている。

山田町も多くの町村と同じように過疎化に悩んでいた。よその地域に類を見ない文化や産業に乏しい町と自覚、ムラおこしや開発のコンセ



かかしフェスティバル。アイデアに富んだかかしが笑いを誘う

プトに何に求めるのか。町はいろいろ考えた。そして、豊かな自然とのどかな農村風景があることに気付いた。基幹産業は農業で、町内のどこでもかかしが似合う。「心のふるさと・山田」をかかしに求めることにし、一九九三(平成五年、町制施行四十周年記念事業として「かかし村構想」をまとめた。

毎年十月下旬の土・日曜日、「かかし村秋祭り」が一堂ヶ丘公園で行われる。かかしフェスティバル、地場産品の即売、郷土芸能披露など、多くの催しがあり、大勢の人々でにぎわう。

メインはかかしフェスティバル。毎年風力で羽ばたく巨大な怪鳥、風が吹くと音がでるかかし、その年に話題になった人物など、アイデアに富んだかかしが展示される。今年で十一回目。参加者は鹿児島県や県内各地に広がり、出品数も年々増えている。

かかしのほかにもう一つ、山田町に関して話題になっているものに温泉がある。霧島連山のふもと、良質で豊かな温泉源を活用した温泉施設である。「やまだ温泉」と「ゆぼっぱ」、やすらぎと癒やしを求めて町内外からの客でにぎわう。「ゆぼっぱ」ではパン作りやそば打ちなどの体験もできる。さらに家族全員で楽しめるパークゴルフ場を設置。世代を選ばず、レジャー性や競技性があり、最近人気が上がっている。六コース五十四ホールは九州最大規模。全国大会も開催されている。

かかしと温泉。ユニークな組み合わせで山田町は新時代の躍進をにらむ。

前田博仁